

ARB	各病院コメント
三次中央	引き続き、アジルサルタン20mgとオルメサルタン20mgがほぼ同量でトップでした。テルミサルタン40mgも微増していました。
三次地区医療センター	オルメサルタンが倍増、カンデサルタンは減少し推奨薬の比率は上昇しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている。前月に比べて使用量が全体的に増えている
西城市民病院	先月よりも若干使用量が増えている
府中北市民病院	なし

PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	引き続き、ランソプラゾール15mgが断トツでトップでした。その他オプション薬のタケキャブ20mgが増加傾向でした。
三次地区医療センター	ランソプラゾール増加、ラベプラゾール・エソメプラゾール減少、ボノプラザンが倍増し、推奨薬の比率が低下しました。副作用により推奨薬からボノプラザンへの切替え例がありました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ランソプラゾール及びラベプラゾールの使用量が増加傾向にある
府中北市民病院	なし

スタチン	各病院コメント
三次中央	ロスバスタチン2.5mgが上昇傾向にあり、アトルバスタチン10mgとほぼ同量でした。ピタバスタチン2mgも微増していました。
三次地区医療センター	ロスバスタチン・アトルバスタチンが減少、プラバスタチンがやや増加し推奨薬の比率が低下はしましたが、高い数値は保持しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ロスバスタチンは半錠などの使用が多いもののここ数ヶ月で使用量が伸びている
府中北市民病院	なし

α -GI	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	ボグリボースが倍増しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	特に大きな変化はなし
府中北市民病院	なし

抗ヒ薬	各病院コメント
三次中央	全体的に減少傾向でした。
三次地区医療センター	全ての薬剤が大きく増加していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている オプション薬のピラスチンの採用を予定している
西城市民病院	特に大きな変化はなし
府中北市民病院	なし

消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	アセトアミノフェン細粒は昨年11月ごろより急増しています。
三次地区医療センター	全ての薬剤が大きく増加していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	アセトアミノフェン300mgとロキソプロフェン錠及びセレコキシブ錠100mgの使用量が多く、特にセレコキシブは、ここ数ヶ月で使用量が最大となっている
府中北市民病院	なし

歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	アモキシシリン細粒(推奨薬)もクラリスロマイシン小児用DS(オプション薬)も減少傾向でした。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	採用ありません

備北地区・地域フォーミュラリ薬剤 数量集計での各病院コメント

令和 8 年 3月分(2)

ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	新しく赴任された医師の先生の影響もあるのか、4月はリセドロン酸(推奨薬)が増加傾向、ミノドロロン酸(オプション薬)は減少傾向でした。
三次地区医療センター	アレンドロンが先月の約4倍に増加、該当患者の増加が見られました。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	ここ数か月では50錠近く多い使用量となっている
府中北市民病院	なし

ヘルパス薬	各病院コメント
三次中央	引き続き、全体的に減少していました。
三次地区医療センター	3件の処方あり。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用なし
府中北市民病院	なし

Ca拮抗薬	各病院コメント
三次中央	推奨薬は横ばい、その他ベニジピン4mgが微増でした。
三次地区医療センター	アムロジピン増加、ニフェジピン・ベニジピンは減少。総数はほぼ横ばいでした。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている 前月に比べて処方量が増加している
西城市民病院	オプション薬のベニジピン錠4mgの使用量は依然として多くの使用となっている
府中北市民病院	なし

グリニド系糖尿病薬	各病院コメント
三次中央	レパグリニド0.25mg(推奨薬)もミチグリニド10mg(オプション薬)も処方量が増えていました。
三次地区医療センター	レパグリニドが半減しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	オプション薬の使用しかないが特に変化なし
府中北市民病院	採用ありません

多価不飽和脂肪酸製剤	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	イコサペント酸が半減しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	特に変化なし
府中北市民病院	採用ありません

尿酸生成抑制薬	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	フェブキソスタット増加もアロプリノールが大きく減少し、総数は減少していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量は多いほうではあるが先月よりも使用量は若干少なくなっている
府中北市民病院	なし